

慈光寺

季号 53 月号
冬第 53 年 1 月
平成 29 年 1 月 1 日 発行

平成二九年（二〇一七年）丁酉（ひのととり）の幕開けです。

初春のお慶びを申し上げます。

どんな一年になるのでしょうか。

昔から伝わる暦からひもといてみると、まず千支ですが十二支の十番目酉年。十千からみると、四番目にあたる丁（ひのと）。丁は火の弟と書き火の性質、火の「陽」となります。

植物で表すと、壮年の男子の意味で草木の形が充実した状態を表します。

酉年の酉は「お酒」に関する時に使われ、収穫した作物から「酒」をつくる、収穫出来る状態であると言う所から「実る」と言う意味にあたります。

植物で表すと草木の果実が成熟しきった状態を表しています。

これだけ読むと何か良い年になりそうな感じですが…。

残念な事に「丁」は「火」、「酉」は「金」。五行説からみると、火が金をとかしてしまいう「安気」と「実る」が打ち消されてしまうのです。

九星学では「一白水星」の年です。一白水星は「苦勞と困難」を暗示し、止まる、改良、変化を意味しています。

こう考えると何とも余り期待は出来そうにない内容で、全て順調に行きそうにも有りません。

同じ千支は60年に一度めぐってきます。一九五七年（昭和32年）東京の人口が八五一万人になり、ロンドン抜いて世界一の人工都市になったり、新五千円札や百円硬貨が発行、トヨタがアメリカへ自動車輸出、日産はスポーツカーを発売しました。東海村に原発が出来ました。それから、大阪の

そうごうが東京へ進出。どれも発展的な動きの年と言えるのですが、一九五七年に拡大成長したものは、今どうなっているでしょうか？

丁酉の年の拡大路線、大きな一歩は慎重な判断が必要なようです。

時代を作る年、頭ではいけると思うのですが、体がついていかない。そんな結果にならないよう、六十年前とは違う一歩にしなければなりません。

祝祷会では二〇一七年をうまく乗り切る、そんな話をさせて頂きます。妙見様で良い運を頂いて下さい。皆様、お揃いでお参り下さい。



行事案内

★平成二十九年年度新年祝禱会

元旦・二日 十時～十六時
三日 十時～正午迄

一年の始まりは当山の祝禱会から
皆さんの幸せ一杯を妙見大菩薩様の御寶前にて御祈願いたします。
うれしいおみやげを沢山準備してお待ちしております。
乞うご期待!!

◎神社にお参りされると共に、是非、お寺へもお参りされご先祖様に新年のご挨拶を忘れず皆様で致しますよう。

★新春妙見宮大祭修行

一月十五日(日)



御祈念の時間
午前の部 十時・十一時
午後の部 三時・四時・五時

「北辰菩薩は名づけて妙見と云う。今、神呪を説いて諸の国土を擁護せんと欲す」
靈驗あらたかな妙見大菩薩にご家族お揃いでお参り下さい。

平成二十九年年度行事予定

| | |
|----------|----------|
| 一月元旦 | 新年祝禱会 |
| 一月三日 | 妙見宮大祭修行 |
| 二月三日 | 節分祭 |
| 三月十八日 | 春彼岸会 |
| 四月 | 花祭り |
| 四月二十五日 | 最上祭 |
| 五月十五日 | 妙見宮夏祭大祭 |
| 七月二十五日 | 総代・世話人会議 |
| 八月七日 | 頭痛加持 |
| 八月十五日 | 盂蘭盆会 |
| 九月十五日 | 妙見宮秋大祭 |
| 九月二十三日 | 秋彼岸会 |
| 十一月三日 | 御会式 |
| 十二月中旬～下旬 | 大掃除 |

予定の為、都合によりやむをえず変更する事もありますので、ご了承下さい。

※二十九年度版「一天暦」をご希望の方お早目に寺務までお申し出下さい。

毎年ご希望される方はお声をおかけください。準備させていただきます。

★節分星祭修行 妙見社

二月三日(金)

午後二時～八時まで

人の運命ほど計れないものはありません。眼前の災禍を払い多幸の運命を切り開いて行くには、星祭に無事息災で多幸多福にするよう御祈念をいたします。皆様お誘いのうえ開運厄除星祭にお参り下さい。郵送での受付も行っております。

厄年
男性 二五歳・四二歳・六一歳
女性 十九歳・三三歳・三七歳
数之年

※厄除特別御祈願をしております。ご希望の方は、あらかじめご希望日時をお知らせ下さい。

大節分会

18時より (一座のみ)

今年は特別厄除祈願として皆さんに身に付けるものをお供えて頂き、祈願後、外回廊より境内へ福豆と一緒に撒くことで厄落としをします。まかれたお供物は参拝者の方に拾って頂きます。身体に心配などところがある方はその箇所因んだものをお供えください。例えば足なら靴下や靴など。皆様からのお供物を受付中です。1月25日までにお納め下さい。

福豆の他にもお菓子なども一緒に撒きます。好きなだけお持ち帰りあります。ミニ福引も計画しております。どなたでも参加自由です。ご近所の方やご友人、お子様もぜひ楽しみにお参り下さい。

今年の節分は一味違います!

平成二十九年 年回表

| | |
|-------|--------|
| 一周忌 | 平成二十八年 |
| 三回忌 | 平成二十七年 |
| 七回忌 | 平成二十三年 |
| 十三回忌 | 平成十七年 |
| 十七回忌 | 平成十三年 |
| 二十五回忌 | 平成五年 |
| 三十回忌 | 昭和三十年 |
| 五十回忌 | 昭和四十三年 |
| 百回忌 | 大正七年 |

※本年、年回忌にあたる霊位がいらっしゃるかどうかをご確認下さい。尚、ご法事を行う予定の方はお早目にお寺まで日時等をお知らせ下さい。

平成二十九年度の護持会・灯明料・墓地・納骨堂管理費・納入について

慈光寺護持発展の為、いつもご協力頂き有難うございます。新年一月一日より、本年度の受付を開始いたします。三月三十一日までにお納めいただけますようお願い致します。

★講演・法話のお知らせ

- ・春彼岸 法話 秋田 本住寺 住職
- ・山口 顕辰上人
- ・孟蘭盆会 講演 年金詐欺のお話 広島西警察署 生活安全課
- ・秋彼岸 講演 私たちの暮らしに役立つお話を考えています。お楽しみに。
- ・お会式 法話 光政寺 住職 下井泰全 上人

※変更もありますので、ご了承下さい

初春のお慶びを申し上げます

檀信徒の皆様にはいつも護持発展の為に協力承り誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。おかげさまで旧年は慈光寺にとりましては、大きな事件も起こらず、なだらかな良き一年でありました。寺離れがさげばれる昨今、今こそ日蓮聖人の教えを信じ、お互いが助け合い信じ合う仲間作りを致しましょう。皆様にとりましては、良き一年となります様お祈り致します。

総代長 副総代 世話人

- 大島幹男
- 島田 巖
- 吉山稀雄
- 川崎力生
- 金丸徹史
- 蔵染昌稔
- 鰐木康成
- 大島劫志

お知らせ

大島劫志さんがお寺のお世話をして下さい。改めてよりよくお願い致します。



御礼

- ・お供 熊谷良子様 五千元
- ・お供 松岡 光様 三千元
- ・仏像 大田勝司様



せいしほきつ 勢至菩薩
 (梵名マハースターマブラーブタ)
 智慧の光で全てを照らし人々を迷いや苦しみから救う仏さま
 作家：日展会員 林 政治氏

お寺に寄贈頂きました。玄関のさどりの窓の所でご披露申し上げます。是非皆様ご覧下さい。

感謝 合掌

（総代長はじめ役員さんたちばな会のみなさんいつもありがとうございます）

報告

梵鐘につきまして。皆様からの善意の浄財が届いております。心より御礼申し上げます。金額的には予算は二千万円〜二千五百万円を考えております。現在、色々と研鑽してある真つ只中です。案が出来上がりましたら、報告しご意見を伺わせて頂きたいと思っております。草津の町に当山の除夜の音、正午を告げる鐘の音を楽しみに、もしばらくお待ちください。

お知らせ

◆写経会をはじめます。
 二月から毎月七日を写経の日として二時〜四時までの二時間の予定です。初回のみ、お経の綴りを購入していただきます。一六〇〇円です。筆は筆ペンでも大丈夫です。当山でも準備します。お気軽におこしください。電話でお申込み下さい。

◆お寺で仏前結婚できます。「ひまわりから」の小笠原先生がご協力してくださいます。着付け、美容も全てお出来になる先生です。衣装も予算によって色々ご相談にのって下さるそうです。



★平成大改修事業寄付報告

166,188,822円 平成28年12月現在
 皆様には沢山のご協力を頂きありがとうございます。おかげさまであと残り一千万円となりました。返済の方も順調に進んでおりますが、皆様、若干でもご協力をよろしくお願い致します。
 ※お寺で働いて頂ける方を急募集めています。仕事の内容は、掃除や料理など主婦の延長です。お知り合いの方をご紹介下さい。お願い致します。

水場の使用について

環境整備にご協力ください。
 ☆水場の使用の整理整頓をお願いします。
 ☆バイク、自転車の乗り入れは、境内セメントのところへお止めください。
 ☆花のゴミはなるべく小さくして袋へお入れください。よろしくお願致します。

☆飲み物や食品のお供はお墓にお供えされた後、必ずお持ち帰り下さい。
 ☆自分の墓所の草ぬきご協力を願致します。

お墓のごとは

- お墓の建替え、修繕・墓石のご相談は
- ・杉田石材店様 (草津慈光寺より百メートル) 事務所 電話082-271-0726
- ・今田石材様 西区中広町 丁目 千九十一 事務所 電話082-232-1813

お仏壇のごとは

- 仏壇・仏具・修理などのご相談は
- ・吉野心丹田店様 安芸郡府中町大通 丁目十四一六 電話082-222-1543
- ・三世仏壇様 広島市西区南観音 丁目十一三十五 電話082-229-1612



普門山

慈光寺

〒733-0861 広島県広島市西区草津東3丁目7-25
 TEL: 082-271-4665 H P: http://www.jikouji.com
 FAX: 082-275-2216 mail: info@jikouji.com

編集・発行